

歩こう会「別府の桜を歩く」

令和3年3月27日(土)、春恒例のイベント「歩こう会」を実施しました。今回のテーマは“別府の桜を歩く”。ひと月前まで真冬だったのが嘘のような穏やかな春の日和に恵まれました。参加者は8組のご夫婦を含む35名。初参加者も5名いました。

9:40に別府駅東口の油屋熊八像前に集合。別府が舞台ということで、別府支部前支部長の栗原稔さん(大15)と、現副支部長の明石泰信さん(大26)が差し入れ持参で激励してくれました。幹事の丸井弘美さん(大16)によるコース説明の後、出発しました。



(境川の桜)

登録有形文化財旧野口病院の前を經由して北に向かい、境川に出ました。ここから兩岸に咲き誇る桜を見ながら河川敷を2.4km遡って南立石公園に至る2.4kmが今回のハイライトです。鶴見岳一気登山のコースにもなっています。



高低差130mの行程は、飛び石を渡って流れを横断する所のほか、随所に石段や斜面もあり、思いのほかきつくて、行列が長く伸びてしまいました。ついには途中で棄権して川岸に上がり、タクシーで別府駅に戻る人も出ました。

(南立石公園から別府公園へ)

桜が満開の南立石公園で小休止。記念撮影の後、荘園町の住宅街を抜けて別府公園を目指します。荘園町は昭和の初め、6本の道路を放射線状に配置して造成された住宅街で、その中心にある六角温泉を外から眺めました。栄光園前を經由して富士見通りに出て市役所前の最終目的地別府公園に着いた時には少し足を引きずる人もいました。公園西口にある油屋熊八記念碑の前に集まり、渡邊新十郎幹事(大16)の挨拶で解散したのは12:30でした。



新型コロナ対策で市内の公園はすべて飲食禁止となり、花見客もあまり見かけません。弁当を食べることができなくて、やや物足りない歩こう会となりました。

貸切バスの車内で参加者の近況報告を聴きながら目的地に行き、野山を歩いて弁当を食べた帰りには酒蔵に立ち寄って試飲、道の駅で買い物を楽しむのが大分支部歩こう会の通常の姿です。ここ数回は、三密を避ける必要からそれができていません。早くコロナ前の姿に戻りたいものです。

参加された四極会員の皆さん、事前に下見をして綿密なコース設定をされた幹事(渡邊新十郎、丸井弘美、松井一博)の皆さん、ご協力ありがとうございました。